

2010年度

|   |  |     |       |
|---|--|-----|-------|
| 科目名   | 体育科教育法   |     |       |
| 担当教員  | 堀野 正彦  |     |       |
| 配当  | 教福2(4212)  | コード | 13390 |
| 開期  | 後期   | 講時  | 月曜日3限 |
|   |  | 単位数 | 2     |
| 授業テーマ   | 小学校体育科教育における「より良い体育授業のあり方」を探る。   |     |       |
| 目的と概要   | 新学習指導要領のキーワードは「生きる力」である。その内容は①課題解決的学習の推進②豊かな人間性の醸成③健康の保持増進や体力の向上である。体育科は、「生きる力」の育成に大きくかかわりのある教科である。指導者はこの重要性を認識し、体育科の学習指導の充実に努める必要がある。加えて「活発に運動するとそうでない者に二極化している」現状を打破し、夢中になって運動に取り組む児童の育成を目指さなければならない。そこで、体育科の各領域内容を熟知し、その指導の在り方を探求する。それを踏まえて学習指導案を作成し、より良い体育授業を追究する。 |     |       |
| 成績評価法   | 期末テストの成績により評価する。<br>また、随時講義時に小テストを実施し、その内容も考慮する。   |     |       |
| テキスト  | 小学校学習指導要領解説 体育編 / 文部科学省 / 東洋館出版社   |     |       |
| 参考書   |  |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言   | 主体的な学習態度を求めます。   |     |       |
| 講義計画  |  |     |       |
| <p>1. オリエンテーション<br/>講義についての概要を発表する。「私にとっての体育」のレポートを書き、それを基に、体育科教育の課題について考える。</p> <p>2. 学習指導要領と体育科教育<br/>体育科教育における「生きる力」とは何か。体育科教育の考え方、体育科の目標と内容の構成。</p> <p>3. 運動領域の内容 (1)<br/>各種の運動(遊び)の内容とねらい。低・中学年の各種の運動(遊び)の指導にあたっての留意点。</p> <p>4. 運動領域の内容 (2)<br/>ゲームの内容とねらい。低・中学年のゲームの指導にあたっての留意点。</p> <p>5. 運動領域の内容 (3)<br/>器械運動の内容とねらい。中・高学年の器械運動の指導にあたっての留意点。</p> <p>6. 運動領域の内容 (4)<br/>水泳・陸上運動の内容とねらい。高学年の水泳と陸上運動の指導にあたっての留意点。</p> <p>7. 運動領域の内容 (5)<br/>体づくり運動の内容とねらい。全学年における体づくり運動の指導にあたっての留意点。</p> <p>8. 運動領域の内容 (6)<br/>ボール運動・表現運動の内容とねらい。高学年のボール運動と中・高学年の表現運動の指導にあたっての留意点。</p> <p>9. 保健領域の内容<br/>保健領域の内容とねらい。中・高学年の保健の指導にあたっての留意点。</p> <p>10. 体育科授業の展開<br/>学習指導案の様式・書き方について知る。「展開」における段階的指導について考える。</p> <p>11. 体育科学習指導案の作成 (1)<br/>低学年の各種の運動遊びの内容からひとつ選び、各自が2時限目の学習活動の展開と指導の留意点について考える。</p> <p>12. 体育科学習指導案の作成 (2)<br/>各自が考えたものをもとに、相互批評し、内容を深める。</p> |  |     |       |

1 3. 体育科学習指導案の作成 (3)  
各自で指導案を仕上げる。

1 4. 体育科学習指導における留意点 (1)  
学習活動の展開における「易」から「難」についての考えを深める。

1 5. 体育科学習指導における留意点 (2)  
是非身に付けておきたいこと (特に、安全) について知る。